

論文

中国語における“好(不)容易+VP”の意味・機能に関する考察

周 世超¹

A Study on the Meaning and Function of “Hao(Bu)RongYi+VP” in Chinese

Shichao ZHOU¹

ABSTRACT

In this paper, I considered the meaning and usage of the “Hao(Bu)RongYi+VP” in Chinese. The following conclusions were obtained. When “Hao(Bu)RongYi+VP” is used in a simple sentence, or used in a coherent complex sentence, or it functions as a noun modification clause, “Hao(Bu)RongYi” is a “Manner Adverb”, and “Hao(Bu)RongYi+VP” means that “it was realized after hardship”. When it is used in a simple sentence, or used in a coherent complex sentence, and the subject is the first person, it is necessary to co-occur with the adverb “cai”. When “Hao(Bu)RongYi+VP” is used in the subordinate clause of an adversative complex sentence, “Hao(Bu)RongYi” is an “Evaluation Adverb”, and “Hao(Bu)RongYi+VP” means that “Even though it was realized, it became incomplete”. It represents the evaluation of “a meaningful event” on the VP. When “Hao(Bu)RongYi+VP” is used in a compound sentence with the main clause is an expressive sentence or an imperative sentence, “Hao(Bu)RongYi” is an “Evaluation Adverb”, and “Hao(Bu)RongYi+VP” means that “Although it was realized, let us make it become a perfect result”. It represents the evaluation of “a meaningful event” on the VP.

キーワード 様態の副詞, 評価の副詞, 意味・機能, 人称

Keywords: manner adverb, evaluation adverb, meaning and function, person

1. はじめに

中国語における“好容易”と“好不容易”は副詞としての役割を果たす場合、似かよったような意味をあらわす。また、“好不容易(好容易)”は“他好不容易(好容易)才来到了北京。”(彼は時間をかけて苦勞してやっと北京に来了。)のような「様態の副詞」¹⁾としての役割を果たす場合もあるが、“好不容易(好容易)来到了北京,我们去万里长城吧。”(せっかく北京に来たのだから,万里の長城に行こう。)のような「評価の副詞」²⁾としての役割を果たす場合もある。しかし、具体的にどんな場合に「様態の副詞」として機能し、どんな場合に「評価の副詞」として機能するかはまだ明らかにされていない。本稿では、副詞として“好不容易(好容易)”が用いられる文の構文的特徴に焦点をあてて、“好不容易(好容易)+VP”の意味・機能を明らかにする。

2. 先行研究の問題点と本稿の立場

“好不容易(好容易)”に関する研究は呂(1980)、劉・陳(2004)、趙・鄧(2017)などが挙げられる。呂(1980: 259)では、“好容易”と“好不容易”の意味について、否定をあらわし、“很不容易”(「難しい」や「大変」)³⁾の意味であるとされている。また、趙・鄧(2017: 44-45)では、呂(1980)に基づき、“好容易+VP”と“好不容易+VP”は“非常不容易”(「とても難しい」や「とても大変」)の意味であるとされている。しかし、実際の用例を観察してみると、呂(1980)と趙・鄧(2017)の指摘は十分とは言えない。というのは、下記の例(1)(2)(3)における“好不容易”は単純に“很不容易”(「難しい」や「大変」)や“非常不容易”(「とても難しい」や「とても大変」)として解釈できないからである。

(1)她拽住沟渠边的野草, 好不容易挣扎上来。(莫言

¹ 891-0197 鹿児島市坂之上8-34-1 鹿児島国際大学大学院国際文化研究科博士後期課程

The International University of Kagoshima Graduate School Intercultural Studies Doctor Program, 8-34-1 Sakanoue, Kagoshima 891-0197, Japan
2018年5月25日受付, 2018年7月20日採録

《丰乳肥臀》1996) (彼女は必死に水路に生えている雑草をつかみ、時間をかけて苦勞してやっともがいて登ってきた。)⁴⁾

(2)我好不容易订票成功了, 可取票时却说票没了。
(《人民日报》2012年1月4日) (せっかくチケット予約に成功したのに, 受取時にはもうないと言われた。)

(3)你好不容易碰上这么个机会, 千万不敢耽搁了。(路遥《路遥文集》2005) (せっかく君はこのチャンスに巡り合ったのだから, ぐずぐずしてはいけない。)

例(1)(2)(3)における“好不容易”は修飾語として後置のVPと意味関係を結んでいる点が共通している。しかし、それぞれのあらわす意味は全く同じであるとは言えない。例(1)における“好不容易”は「時間をかけて苦勞してやっとも」の意味をあらわし、例(2)における“好不容易”は「せっかく～のに」の意味をあらわし、例(3)における“好不容易”は「せっかく～のだから」の意味をあらわしている。いずれも呂(1980)でいう“很不容易”(「難しい」や「大変」)や趙・邓(2017)でいう“非常不容易”(「とても難しい」や「とても大変」)の意味にはあてはまらないと思われる。なぜなら、“很”や“非常”の修飾を受けた“很不容易”や“非常不容易”は事柄の性格をあらわす形容詞であり、“好不容易挣扎上来”のような文における“好”の修飾を受けた“好不容易”は事柄の性格ではないと考えられる。このことから、呂(1980)と趙・邓(2017)の解釈は適切ではないといわざるを得ない。

また、劉・陈(2004: 136)では、“好不容易(好容易)”について“后续成分中VP的语义多表示‘企望实现, 并获得了满意的结果’。”(後続するVPは多くの場合、「実現することが望ましい。また満足できるような結果を獲得した」という意味をあらわす。)と述べられている。しかし、具体的に“好不容易(好容易)”はどんな文環境において、VPは「実現することが望ましい。また満足できるような結果を獲得した」という意味をあらわさないかについてまだ明らかにされていない。実際の用例を観察してみたところ、下記の例(4)(5)のような“好不容易”が用いられる文におけるVPは「実現することが望ましい。また満足できるような結果を獲得した」という意味であるとは言いがたい。

(4)老古好不容易才平静下来。(曾晨辉《焚香》2013) (古さんは時間をかけて苦勞してやっとも落ち着いた。)

(5)阿炳好不容易在人堆里挤出头来, 叫道:“安同志! 安同志在哪儿?”(麦家《暗算》2003) (阿炳は時間

をかけて苦勞してやっとも人混みの中から頭を出して、「安さん! 安さんはどこ?」と叫んでいた。)(“阿炳”は人名である。)

例(4)(5)における“好不容易”は「時間をかけて苦勞してやっとも」という意味をあらわしている。このような文における“平静下来”(落ち着く)と“在人堆里挤出头来”(人混みの中から頭を出す)には「実現することが望ましい」という意味が含まれていないように思われる。というのは、例(4)(5)は主語が三人称の現象描写文⁵⁾であり、“好不容易”は「様態の副詞」の役割を果たしているため、「実現することが望ましい」などのような話者の主体的意義⁶⁾が含まれていないと考えられる。このことから、劉・陈(2004)の解釈は不十分だと言わざるを得ない。つまり、“好不容易(好容易)”に後続するVPの意味について考察する場合、“好不容易(好容易)”は「様態の副詞」の役割を果たしているのか、それとも話者の主体的意義をあらわす「評価の副詞」の役割を果たしているのかも視野に入れて考察すべきだと思われる。

先行研究に対して、本稿では、副詞として使われる場合の“好容易”と“好不容易”は似たような意味・機能を有するものとしてみなし、“好不容易+VP”と“好容易+VP”を“好(不)容易+VP”のように標記し、その意味・機能について以下のように新たに提案する。

(6)“好(不)容易+VP”の意味・機能は以下の三つに分布しているのではないと思われる。

①“好(不)容易+VP”が単文に現れる場合、連続複文に現れる場合、名詞修飾節として機能する場合、“好(不)容易”は「様態の副詞」の役割を果たし、“好(不)容易+VP”は「時間をかけて苦勞してやっともVPを実現した」という意味をあらわす。

②“好(不)容易+VP”が逆接複文に現れる場合、“好(不)容易”は「評価の副詞」の役割を果たし、“好(不)容易+VP”は「せっかくVPを実現したのに、不完全な結果になってしまった」という意味をあらわす。“好(不)容易”はVPに「意味のある出来事」という評価を与える。

③“好(不)容易+VP”は主節が「表出文」や「働きかけ文」⁷⁾の複文に現れる場合、“好(不)容易”は「評価の副詞」の役割を果たし、“好(不)容易+VP”は「せっかくVPを実現したのだ

から、VPを完全な結果にしよう」という意味をあらわす。好(不)容易”はVPに「意味のある出来事」という評価を与える。

上記の(6)は本稿の仮説である。以下では、“好(不)容易+VP”が用いられる文の構文的特徴に焦点を当て、その意味・機能を明らかにする。さらに“好(不)容易+VP”に含まれた評価的意味と人称との関係を明らかにする。以下3では単文における“好(不)容易+VP”の意味・機能について考察し、4では複文における“好(不)容易+VP”の意味・機能について考察する。5では、まとめを行う。

3. 単文における“好(不)容易+VP”の意味・機能

コーパスを調べたところ、単文における“好(不)容易+VP”の主語は主に一人称と三人称⁸⁾に分布している⁹⁾。本節では、主語が一人称の場合と主語が三人称の場合に分けて、単文における“好(不)容易+VP”の意味・機能について考察し、(6)の仮説について実証する。また、“好(不)容易”と共起しやすい副詞の“才”との関わりも視野に入れて考察する。

3.1. 主語が一人称の場合

“好(不)容易”の主語が一人称である場合、“好(不)容易”は「様態の副詞」の役割を果たし、“好(不)容易+VP”は「時間をかけて苦勞してやっとVPを実現した」という意味をあらわす。この場合、副詞の“才”と共起する必要がある。副詞の“才”は「やっと」という意味の役割を担っている。

(7)我好不容易才来到这里。(路遥《平凡的世界》1986)

(私は時間をかけて苦勞してやっとここまで来た。)

(8)我好不容易才把相机取了回来。(《人民网》2010年1

月5日)(私は時間をかけて苦勞してやっとカメラを取り戻した。)

(9)我好不容易才找回自己的声音。(唐欣恬《裸婚》

2010)(私は時間をかけて苦勞してやっと自分の声を取り戻した。)

例(7)(8)(9)の場合、“好不容易”の主語が一人称であり、“好不容易”は副詞の“才”と共起している。例(7)における“好不容易+VP”は、主体の「私」が時間をかけて苦勞してやっとここまで来たという意味をあらわす。例(8)における“好不容易+VP”は、主体の「私」が時間をかけて苦勞してやっとカメラを取り戻したという意味をあらわす。例(9)における“好不容易+VP”は、

主体の「私」が時間をかけて苦勞してやっと自分の声を取り戻したという意味をあらわす。

この場合、副詞の“才”を削除すると、不自然な文になる。

(7)我好不容易来到这里。?(せっかくここに来た(のに・のだから))

(8)我好不容易把相机取了回来。?(せっかくカメラを取り戻した(のに・のだから))

(9)我好不容易找回自己的声音。?(せっかく自分の声を取り戻した(のに・のだから))

例(7)(8)(9)における“才”を削除すると、例(7)(8)(9)のような不自然な文になる¹⁰⁾。なぜなら、話者の“我”の顕現によって、“好(不)容易”は主体的意義をあらわす「評価の副詞」としての役割を果たそうとするが、この場合は単文であるため、“好(不)容易”が「評価の副詞」の役割を果たすために必要な(本稿で提案した)「完全な結果にしよう」あるいは「不完全な結果になった」という含みのある部分の出現がかなわず、不自然な文あるいは不完全な文になったのである。

また、なぜ例(7)(8)(9)が自然な文であるかというのは、副詞の“才”は「やっと」の意味をあらわすことによってその後続する成分VPを話者の期待の結果として仕立てたのである。そのため、“才”を削除すれば、VPは話者の期待の結果ではなくなり、“好(不)容易”はさらにその続きとして、「完全な結果」あるいは「不完全な結果」を求めるようになったのではないかと考えられる。つまり、この場合における“才”は話者の「期待」という評価をあらわし、“好(不)容易”は「様態の副詞」としての役割を果たしている。

このことから、“好(不)容易”の主語が一人称である場合、“好(不)容易”は副詞の“才”と共起する必要があるといえる。

3.2. 主語が三人称の場合

“好(不)容易”の主語が三人称である場合、“好(不)容易”は「様態の副詞」の役割を果たし、“好(不)容易+VP”は「時間をかけて苦勞してやっとVPを実現した」という意味をあらわす。この場合、副詞の“才”と共起する場合もあれば、共起しない場合もある。

(10)老古好不容易才平静下来。(例(4)を再掲)(古さんは時間をかけて苦勞してやっと落ち着いた。)(“老古”は人名である。)

(11)她好不容易才追求到了今天这一切。(路遥《黄叶在秋风中飘落》1993)(彼女は時間をかけて苦勞してやっ

と今日のすべてを手に入れた。)

- (12)9時30分, 他好不容易才拦住了一辆白色出租车。
 (《人民网》2009年11月20日) (9時30分, 彼は時間をかけて苦勞してやっと白いタクシーを一台捕まえた。)

例(10)(11)(12)の場合, “好不容易”の主語が三人称であり, “好不容易”は副詞の“才”と共に起している。例(10)における“好不容易+VP”は, 主体の“老古”が時間をかけて苦勞してやっと落ち着いたという意味をあらわす。例(11)における“好不容易+VP”は, 主体の“她”が時間をかけて苦勞してやっと手に入れたという意味をあらわす。例(12)における“好不容易+VP”は, 主体の“他”が時間をかけてやっと白いタクシーを一台捕まえたという意味をあらわす。

また, “好(不)容易”の主語が三人称である場合, “好(不)容易”は副詞の“才”と共に起しない場合もある。

- (13)他好不容易在一大早与之分别了。(张炜《柏慧》1994) (彼は時間をかけて苦勞してやっと早朝にあの人と別れた) (“之”は「あの人」の意味である。)
- (14)她好不容易查阅了一本名为《姓名学》的书后说。
 (《人民网》2006年7月3日) (彼女は時間をかけて苦勞してやっと『姓名学』という本のあとがきを調べた。)
- (15)老夫妇俩好不容易把他们拉开了来。(张爱玲《秧歌》1955) (老夫婦は時間をかけて苦勞してやっと彼らを引き離した。)

例(13)(14)(15)の場合, “好(不)容易”の主語が三人称であり, “好(不)容易”はそのまま動詞述語文を修飾し, 副詞の“才”と共に起していない。例(13)における“好不容易+VP”は, 彼が時間をかけてやっとあの人と別れたという意味をあらわす。例(14)における“好不容易+VP”は, 彼女が時間をかけて苦勞してやっと『姓名学』という本のあとがきを調べたという意味をあらわす。例(15)における“好不容易+VP”は, 老夫婦が時間をかけて苦勞してやっと彼らを引き離したという意味をあらわす。

このことから, “好(不)容易”は主語が三人称の単文に現れる場合, 副詞の“才”と共に起する必要はないといえる。というのは, 話者が顕現していないため, “好(不)容易”は話者の主体的意義をあらわす「評価の副詞」の役割を果たすことができなないと考えられる。いわば, 主語が一人称の場合のように, 副詞の“才”でVPを話者の期待の結果として仕立てる必要はないからである。

以上をまとめると, “好(不)容易”が単文に現れる場合, 「様態の副詞」の役割を果たし, “好(不)容易

+VP”は「時間をかけて苦勞してやっとVPを実現した」という意味をあらわす。この場合, “好(不)容易”の主語は一人称と三人称に分布している。一人称の場合, 副詞の“才”と共に起する必要がある。

4. 複文における“好(不)容易+VP”の意味・機能

コーパスを調べた結果, 複文における“好(不)容易+VP”は主に連続複文, 逆接複文, 主節が「表出文」や「働きかけ文」の複文, 名詞修飾節の複文に分布している¹¹⁾。本節では, 連続複文の場合, 逆接複文の場合, 主節が「表出文」や「働きかけ文」の複文の場合, 名詞修飾節として機能する場合に分けて, 複文における“好(不)容易+VP”の意味・機能について考察し, (6)の仮説について実証する。

4.1. 連続複文の場合

“好(不)容易”が連続複文に現れる場合はさらに主語が一人称の場合と主語が三人称の場合に分けて考察する。

4.1.1. 主語が一人称の場合

“好(不)容易”は主語が一人称の連続複文に現れる場合, 前節に現れることもあれば, 後節に現れることもある。“好(不)容易”は「様態の副詞」の役割を果たし, “好(不)容易+VP”は「時間をかけて苦勞してやっとVPを実現した」という意味をあらわす。この場合, 副詞の“才”と共に起する必要がある。

- (16)我好不容易才挪动麻木的双腿, 懵懵懂懂跟他们出了凉茶店, 上了面包车。(海岩《一场风花雪月的事》1998) (私は時間をかけて苦勞してやっと麻痺している両足を動かし, なんとなく彼らと一緒に喫茶店をあとにして, マイクロバスに乗った。)
- (17)好多学生冲上来要图图签名, 我们好不容易才把她从台上救了下来。(饶雪漫《没有人像我一样》2006) (图图のサインを欲しがらる学生が一気に押し寄せ, 私たちは時間をかけて苦勞してやっと彼女を壇上から救い出した。)(“图图”は人名である。)
- (18)我们开着车在里边转来转去, 好不容易才找到了一个空着的车位。(海岩《一场风花雪月的事》1998) (私たちは車でその中をぐるぐる回り, 時間をかけて苦勞してやっと駐車スペースを見つけた。)

例(16)(17)(18)の場合, “好(不)容易”の主語が一人称であり, “好(不)容易”は副詞の“才”と共に起している。例(16)における“好不容易+VP”は前節に現れ,

話者が時間をかけて苦勞してやっと麻痺している両足を動かしたという意味をあらわす。例(17)における“好不容易+VP”は後節に現れ、話者が時間をかけて苦勞してやっと彼女を壇上から救い出したという意味をあらわす。例(18)における“好容易+VP”は後節に現れ、話者が時間をかけて苦勞してやっと駐車スペースを見つけたという意味をあらわす。

この場合、単文の一人称と同じように、副詞の“才”を削除すると、不自然な文になる。

(16) 我好不容易挪动麻木的双腿，懵懵懂懂跟他们出了凉茶店，上了面包车。？（せっかく麻痺している両足を動かし、なんとなく彼らと一緒に喫茶店をあとにして、マイクロバスに乗った。）

(17) 好多学生冲上来要图图签名，我们好不容易把她从台上救了下来。？（「图图」のサインを欲しがる学生が一気に上がってきて、せっかく彼女をお立ち台から救い出した。）

(18) 我们开着车在里边转转去，好容易找到了一个空着的车位。？（私たちは車でその中でうろちょろと回っていた。せっかく駐車スペースを見つけた。）

例(16)(17)(18)における副詞の“才”を削除すれば、例(16)(17)(18)のような不自然な表現になる。というのは、単文の場合と同じように、副詞の“才”を削除すると、“好(不)容易”はさらにVPの続きを求めるようになり、不自然あるいは不完全な文になったと考えられる。

このことから、“好(不)容易”は主語が一人称の連続複文に現れる場合、副詞の“才”と共起する必要があるといえる。

4.1.2. 主語が三人称の場合

“好(不)容易”は主語が三人称の連続複文に現れる場合、前節に現れることもあれば、後節に現れることもある。“好(不)容易”は「様態の副詞」の役割を果たし、“好(不)容易+VP”は「時間をかけて苦勞してやっとVPを実現した」という意味をあらわす。また、副詞の“才”と共起する場合もあれば、共起しない場合もある。

(19) 他好不容易才控制住咳嗽，脑子里涌现出疯狂的念头。（残雪《最后的情人》2005）（彼は時間をかけて苦勞してやっと咳を止めたが、頭の中にとんでもないアイデアを思い浮かんだ。）

(20) 好几个人过来，好不容易才将他们拉开。（曹文轩《红瓦》2003）（何人もやって来て、時間をかけて苦勞してやっと彼らを引き離した。）

(21) 他们连忙拥上去，又是拉又是劝，好容易才把赵人孩解救下来。（刘斯奋《白门柳》2005）（彼らは急いで取り囲んで、引っ張ったり、慰めたりして、時間をかけて苦勞してやっと趙人孩を助けた。）（“趙人孩”は人名である。）

例(19)(20)(21)の場合、“好(不)容易”の主語が三人称であり、“好(不)容易”は副詞の“才”と共起している。例(19)における“好不容易+VP”は前節に現れ、主体の「彼」が時間をかけて苦勞してやっと咳を止めたという意味をあらわす。例(20)における“好不容易+VP”は後節に現れ、主体の「何人」が時間をかけて苦勞してやっと彼らを引き離したという意味をあらわす。例(21)における“好容易+VP”は後節に現れ、主体の「彼ら」が時間をかけて苦勞してやっと“趙人孩”を助けたという意味をあらわす。

また、“好(不)容易”は主語が三人称の連続複文に現れる場合、副詞の“才”と共起しない場合もある。

(22) 阿炳好不容易在人堆里挤出头来，叫道：“安同志！安同志在哪儿？”（例(5)を再掲）（阿炳は時間をかけて苦勞してやっと人混みの中から頭を出して、「安さん！安さんはどこ？」と叫んだ。）（“阿炳”は人名である）

(23) 她拽住沟渠边的野草，好不容易挣扎上来。（例(1)を再掲）（彼女は必死に水路に生えている雑草をつかみ、時間をかけて苦勞してやっと上がってきた。）

(24) 好容易把戏演完，于是之带着满腹歉意向观众谢幕。（陈进《访病中于是之》2000）（時間をかけて苦勞してやっと芝居を演じきると、于是之は申し訳ない気持ちでいっぱいになりながら、観客のカーテンコールにこたえた。）（“于是之”は人名である。）

例(22)(23)(24)の場合、“好(不)容易”の主語が三人称であり、“好(不)容易”はそのまま動詞述語文を修飾し、副詞の“才”と共起していない。例(22)における“好不容易+VP”は前節に現れ、主体が時間をかけて苦勞してやっと人混みの中から頭を出したという意味をあらわす。例(23)における“好不容易+VP”は後節に現れ、主体が時間をかけて苦勞してやっと上がってきたという意味をあらわす。例(24)における“好容易+VP”は前節に現れ、主体が時間をかけて苦勞してやっと演じきったという意味をあらわす。

このことから、“好(不)容易”は主語が三人称の連続複文に現れる場合、副詞の“才”と共起する必要はないといえる。

つまり、“好(不)容易”が連続複文に現れる場合、前節に現れることもあれば、後節に現れることもある。“好(不)容易”は「様態の副詞」の役割を果たし、“好(不)容易+VP”は「時間をかけて苦勞してやっとVPを実現した」という意味をあらわす。“好(不)容易”の主語が一人称の場合、副詞の“才”と共に起す必要がある。

4.2. 逆接複文の場合

“好(不)容易+VP”が逆接複文の従属節に現れる場合、“好(不)容易”はすべての「逆接複文」にあてはまるのではなく、主節には「不完全な結果」あるいは「望ましくない結果」の含みのある「逆接複文」に限る。この場合、主語は主に一人称と三人称に分布している。コーパスを調べたところ、逆接複文において“好(不)容易”が“才”と共に起すケースはほほないとはいえる¹²⁾。この場合はさらに主語が一人称の場合と主語が三人称の場合に分けて考察する。

4.2.1. 主語が一人称の場合

“好(不)容易”は主語が一人称の逆接複文の従属節に現れる場合、「評価の副詞」の役割を果たし、VPに「話者にとって意味のある出来事」という評価を与え、“好(不)容易+VP”は「せっかくVPを実現したのだから、不完全な結果になってしまった」という意味をあらわす。主節には話者の「不満」と「残念」な気持ちが含まれる。

(25)我好不容易订票成功了,可取票时却说票没了。(例

(2)を再掲)(せっかくチケットの予約に成功したのに,
受取時には「もうない」と言われた。)

(26)我好容易找到他了,却让他跑掉了。(林晗《很纯很暧昧》2008)(せっかく彼を見つけたのに,
また彼に逃げられてしまった。)

(27)我好容易把他请来了,你又变卦了。(《人民网》
2012年5月5日)(せっかく彼を招いたのに,
こんどは君の気が変わった。)

例(25)(26)(27)の場合、“好(不)容易”の主語は一人称であり、“好(不)容易+VP”は「せっかくVPを実現したのに、不完全な結果になってしまった」という意味をあらわす。例(25)における“好不容易”は、“订票成功”(チケット予約に成功する)ということに「話者にとって意味のある出来事」という評価を与えている。主節には「チケットを手に入れることができなくなった」という「不完全な結果になった」の意味が含まれている。例(26)における“好容易”は、“找到他”(彼を見

つけた)ということに「話者にとって意味のある出来事」という評価を与えている。主節には「彼に逃げられてしまった」という「不完全な結果になった」の意味が含まれている。例(27)における“好容易”は、“把他请来”(彼を招く)ということに「話者にとって意味のある出来事」という評価を与えている。主節には「聞き手の気が変わって、彼を必要としなくなった」という「不完全な結果になった」の意味が含まれている。例(25)(26)(27)の主節には話者の「不満」と「残念」の気持ちが含まれている。

つまり、“好(不)容易”は主語が一人称の逆接複文に現れる場合、「評価の副詞」の役割を果たし、VPに「話者にとって意味のある出来事」という評価を与え、“好(不)容易+VP”は「せっかくVPを実現したのに、不完全な結果になってしまった」という意味をあらわす。

4.2.2. 主語が三人称の場合

“好(不)容易”は主語が三人称の逆接複文の従属節に現れる場合、判定文⁷⁾にあらわすかそれとも現象描写文にあらわすかによって、二通りの解釈ができる。判定文の場合、“好(不)容易”は「評価の副詞」の役割を果たし、“好(不)容易+VP”は「せっかくVPを実現したのに、不完全な結果になってしまった」という意味をあらわす。現象描写文の場合、“好(不)容易”は「様態の副詞」の役割を果たし、“好(不)容易+VP”は「時間をかけて苦勞してやっとVPを実現した」という意味をあらわす。

(28)他好不容易申请到救助款为儿子治病,可料不到钱被偷去。(《人民网》2007年6月18日)(せっかく彼は息子の病気を治すための給付金を手に入れたのに,
そのお金が盗まれてしまった。)(彼が時間をかけて苦勞してやっと
息子の病気を治すための給付金を手に入れたが,
そのお金が盗まれてしまった。)

(29)保连好不容易把帐子里的蚊子逮尽了,身上却弄得一身油汗。(顾坚《元红》2005)(せっかく保连は蚊帳の中の蚊をすべて捕まえたのに,
汗びっしょりになった。)(保连は時間をかけて苦勞してやっと蚊帳の中の蚊をすべて捕まえたが,
汗びっしょりになった。)(“保连”は人名である。)

(30)他好不容易摆脱了大的,现在又来个小的。(爱依《转身,不说再见》2011)(せっかく彼は大きな面倒事から抜け出したのに,
また小さな面倒事に巻き込まれた。)(彼が時間をかけて苦勞してやっと
大きな面倒事から抜け出したが,
また小さな面倒事に巻き込まれた。)

例(28)(29)(30)の場合、“好(不)容易”は主語が三人称の逆接複文の従属節に現れている。例(28)(29)(30)が判定文の場合、“好(不)容易”は「評価の副詞」の役割を果たし、“好(不)容易+VP”は「せっかくVPを実現したのに、不完全な結果になってしまった」という意味をあらわす。例(28)における“好不容易”は“申請到救助款为儿子治病”(息子の病気の補助金を申請できる)ということに「主体にとって意味のある出来事」という評価を与えている。主節には「そのお金が盗まれた」という「不完全な結果になった」の意味が含まれている。例(29)における“好容易”は“把帐子里的蚊子逮尽”(蚊帳の中の蚊をすべて捕まえる)ということに「主体にとって意味のある出来事」という評価を与えている。主節には「汗びっしょりになって眠れない」という「不完全な結果になった」の意味が含まれている。例(30)における“好容易”は“摆脱了大的”(大きな面倒事から抜け出した)ということに「主体にとって意味のある出来事」という評価を与えている。主節には「小さな面倒事がきた」という「不完全な結果になった」の意味が含まれている。例(28)(29)(30)の主節には話者の「同情」と「残念」の気持ちが含まれている。

また、例(28)(29)(30)が現象描写文の場合、“好(不)容易”は「様態の副詞」の役割を果たし、例(28)における“好不容易+VP”は「時間をかけてやっと息子の病気の補助金を申請できた」という意味をあらわし、例(29)における“好容易+VP”は「時間をかけてやっと蚊帳の中の蚊をすべて捕まえた」という意味をあらわし、例(30)における“好容易+VP”は「時間をかけてやっと大きな面倒事から抜け出した」という意味をあらわす。

以上をまとめると、“好(不)容易”は主語が一人称の逆接複文の従属節に現れる場合、または主語が三人称の判定文の逆接複文の従属節に現れる場合、「評価の副詞」の役割を果たし、VPに「意味のある出来事」という評価を与え、“好(不)容易+VP”は「せっかくVPを実現したのに、不完全な結果になってしまった」という意味をあらわす。好(不)容易”は主語が三人称の現象描写文の逆接複文の従属節に現れる場合、“好(不)容易”は「様態の副詞」の役割を果たし、“好(不)容易+VP”は「時間をかけて苦労してやっとVPを実現した」という意味をあらわす。

4.3. 主節が「表出文」や「働きかけ文」の複文の場合

本稿で取り扱う「主節が「表出文」や「働きかけ文」

の複文」とは、“好(不)容易”が従属節に現れ、主節は話者の「表出」あるいは「働きかけ」をあらわす複文を指す。また、本稿で取り扱う主節が「表出文」や「働きかけ文」の複文の用例はすべて主節と従属節が同一主語を有する場合の用例である。同一主語を有しない場合は、現象として取り上げるほどの量に達していないため、本研究の対象外とする。コーパスを調べたところ、“好(不)容易”の主語は一人称、二人称と三人称に分布し、副詞の“才”と共に起るケースはないようである。この場合はさらに主語が一人称の場合、主語が二人称の場合と主語が三人称の場合に分けて考察する。

4.3.1. 主語が一人称の場合

“好(不)容易”の主語が一人称である場合、主節は「表出文」である。“好(不)容易”は「評価の副詞」として機能し、VPに「話者にとって意味のある出来事」という評価を与え、“好(不)容易+VP”は「せっかくVPを実現したのだから、VPを完全な結果にしよう」という意味をあらわす。主節には話者の「決心」と「奮起」の気持ちが含まれる。

(31)我好不容易来一次北京，一定要好好看看。(《人民网》2016年1月22日)(せっかく北京に来たのだから，ちゃんといろいろと回ってみたい。)

(32)我好容易找到一个人可以依靠，我不想再失去他。(李晴宇《梧桐雨》2002)(せっかく頼れる人を一人見つけたのだから，あの人を失うわけにはいかない)

(33)我好容易来一回，在这里要留个纪念。(《人民网》2016年5月23日)(せっかくここに来たのだから，ここで記念撮影したい。)

例(31)(32)(33)の場合、“好(不)容易”の主語は一人称であり、主節が話者の意志をあらわす「表出文」である。例(31)における“好不容易”は“来北京”(北京に来る)ということに「話者にとって意味のある出来事」という評価を与えている。主節は「ちゃんといろいろと回ってみたい」という「『北京に来た』ことを完全な結果にしよう」という意味が含まれている。例(32)における“好容易”は“找到一个人可以依靠”(頼れる人を一人見つける)ということに「意味のある出来事」という評価を与えている。主節は「一緒にいたい」という「『頼れる人を一人見つけた』ことを完全な結果にしよう」という意味が含まれている。例(33)における“好容易”は“来一回”(ここに来る)ということに「話者にとって意味のある出来事」という評価を与えている。主節は「記念撮影したい」という「『ここに来た』ことを完全な

結果にしよう」という意味が含まれている。例(31)(32)(33)の主節には話者の「決心」と「奮起」の気持ちが含まれている。

このことから、「好(不)容易」は主語が一人称の主節が「表出文」の複文の従属節に現れる場合、「評価の副詞」の役割を果たしているといえる。主節には話者の「決心」と「奮起」の気持ちが含まれる。

4.3.2. 主語が二人称の場合

“好(不)容易”の主語が二人称である場合、主節は「働きかけ文」である。“好(不)容易”は「評価の副詞」として機能し、VPに「聞き手にとって意味のある出来事」という評価を与え、“好(不)容易+VP”は「せっかくVPを実現したのだから、VPを完全な結果にしよう」という意味をあらわす。主節には聞き手への「激励」や「叱咤」の気持ちが含まれる。

(34)你好不容易碰上这么个机会,千万不敢耽搁了。(例(3)を再掲)(せっかくこのチャンスに巡り合ったのだから、ぐずぐずしてはいけない。)

(35)你好不容易把初中都快上完了,怎么能中途退学呢?(路遥《平凡的世界》1986)(せっかくあと少しで中学校を卒業できるところまで頑張ってきたのだから、途中でやめてどうする?)

(36)你好容易谋到这份差事,别砸掉饭碗。(柏杨《怪马集》2000)(せっかくこの仕事を手に入れたのだから、この仕事をなくさないでください。)

例(34)(35)(36)の場合、“好(不)容易”の主語は二人称であり、主節は「働きかけ文」である。例(34)における“好不容易”は“碰上这么个机会”(チャンスに巡り合う)ということに「聞き手にとって意味のある出来事」という評価を与えている。主節は「ぐずぐずしてはいけない」という「『チャンスに巡り合った』ことを完全な結果にしよう」という意味が含まれている。例(35)における“好不容易”は“把初中都快上完了”(あと少しで中学校卒業できるところまで頑張ってきた)ということに「聞き手にとって意味のある出来事」という評価を与えている。主節は「卒業まで頑張ろう」という「『中学校卒業できるところまで頑張ってきた』ことを完全な結果にしよう」という意味が含まれている。例(36)における“好容易”は“谋到这份差事”(この仕事を手に入れた)ということに「聞き手にとって意味のある出来事」という評価を与えている。主節は「この仕事をなくさないでください」という「『この仕事を手に入れた』ことを完全な結果にしよう」という意味が含まれている。例(34)

(35)(36)の主節には聞き手への「激励」や「叱咤」の気持ちが含まれている。

このことから、“好(不)容易”は主語が二人称の主節が「働きかけ文」の複文の従属節に現れる場合、「評価の副詞」の役割を果たしているといえる。主節には聞き手への「激励」や「叱咤」が含まれる。

4.3.3. 主語が三人称の場合

“好(不)容易”の主語が三人称である場合、主節は「表出文」である。“好(不)容易”は「評価の副詞」の役割を果たし、VPに「主体にとって意味のある出来事」という評価を与え、“好(不)容易+VP”は「せっかくVPを実現したのだから、VPを完全な結果にしよう」という意味をあらわす。主節には話者が推測した主体の「決心」と「奮起」の気持ちが含まれる。

(37)他历尽磨难好不容易来到这里,怎能再回去呢?(路遥《平凡的世界》1986)(せっかく彼は苦勞してここまで来たのだから、このまま帰るわけにはいかない。)

(38)他好不容易等到这个机会,哪有白白松手的道理?(子澄《等一下先生》2002)(せっかく彼にチャンスがめぐってきたのだから、このまま手放すわけにはいかない。)

(39)金刚好容易有了这么一个吃大餐的机会,当然不能放过了!(林晗《很纯很暧昧》2008)(せっかく金剛はご馳走を食べるチャンスを手に入れたのだから、見逃すわけにはいかない。)(“金剛”は人名である。)

例(37)(38)(39)の場合、“好(不)容易”の主語は三人称であり、主節は「表出文」である。例(37)における“好不容易”は“来到这里”(ここまで来る)ということに「主体にとって意味のある出来事」という評価を与えている。主節は「このまま戻るわけがない」という「『ここまで来た』ことを完全な結果にしよう」という意味が含まれている。例(38)における“好不容易”は“等到这个机会”(このチャンスを手に入れる)ということに「主体にとって意味のある出来事」という評価を与えている。主節は「このチャンスをものにしよう」という「『チャンスがきた』ことを完全な結果にしよう」という意味が含まれている。例(39)における“好容易”は“有了这么一个吃大餐的机会”(ご馳走を食べるチャンスを手に入れる)ということに「主体にとって意味のある出来事」という評価を与えている。主節は「見逃さない」という「『ご馳走を食べるチャンスを手に入れた』ことを完全な結果にしよう」という意味が含まれる。例(37)(38)(39)の主節には話者が推測した主体の「決心」と「奮起」の

気持ちが含まれている。

このことから、“好(不)容易”は主語が三人称の主節が「表出文」の複文の従属節に現れる場合、「評価の副詞」の役割を果たしているといえる。主節には話者が推測した主体の「決心」と「奮起」の気持ちが含まれる。

つまり、“好(不)容易”は主節が「表出文」や「働きかけ文」の複文の従属節に現れる場合、「評価の副詞」の役割を果たし、VPに「意味のある出来事」という評価を与え、“好(不)容易+VP”は「せっかくVPを実現したのだから、VPを完全な結果にしよう」という意味をあらわす。主語が一人称の場合、主節には話者の「決心」と「奮起」の気持ちが含まれる。主語が二人称の場合、主節には聞き手への「激励」や「叱咤」の気持ちが含まれる。主語が三人称の場合、主節には話者が推測した主体の「決心」と「奮起」の気持ちが含まれる。

4.4. “好(不)容易+VP”が名詞修飾節として機能する場合

“好(不)容易+VP”は名詞修飾節として機能する場合、助詞の“的”と共に起し、連体修飾語として後続する名詞を修飾する。この場合の“好(不)容易”は「状態の副詞」として機能し、“好(不)容易+VP”は「時間をかけて苦労してやっとVPを実現した」という意味をあらわす。主語は一人称、二人称と三人称に分布している。この場合、副詞の“才”と共に起することもあるが、共に起さないこともある。

(40)我好不容易才建立起来的关系网差点儿被你给乱拳破掉，这也算是为我好？（柳下挥《天才医生》2015）（私が時間をかけて苦労してやっと作り上げた「関係網」は危うく君に壊されるところだった。これも私のためだというの？）

(41)我好不容易才捡到的煤块，一转眼就被他们偷走了。（张炜《你在高原》2010）（私が時間をかけて苦労してやっと拾った木炭は、あっという間に彼らに盗まれてしまった。）

(42)我好容易找到的饭票。怎么能就这么轻易的没了呢？（林哈《很纯很暧昧》2008）（私が時間をかけて苦労してやっと見つけた食券。なんでこんな簡単になくなったのか？）

例(40)(41)(42)の場合、“好(不)容易”の主語は一人称であり、“好(不)容易+VP”は名詞修飾節として機能している。例(40)における“好不容易+VP”は副詞の“才”と共に起し、「私が時間をかけて苦労してやっと作り上げた」という意味をあらわす。例(41)におけ

る“好不容易+VP”は副詞の“才”と共に起し、「私が時間をかけて苦労してやっと拾った」という意味をあらわす。例(42)における“好容易+VP”は「私が時間をかけて苦労してやっと見つけた」という意味をあらわす。

また、“好不容易+VP”の主語が二人称で、名詞修飾節として機能する場合もある。

(43)但模仿者从你的蓝海中占据一块领地，你当然会尽力防守，保住你好不容易才赢得的客户。（吉宓《蓝海战略》2005）（しかし、模倣者は君のブルーシーの一部を占拠しているのだから、当然君は全力で防御し、君が時間をかけて苦労してやっと獲得したクライアントを守らないといけない。）

(44)你凭什么要无私奉献出你好不容易才捕获的小水鹿呢？（沈石溪《一只猎雕的遭遇》1997）（なぜ君は君が時間をかけて苦労してやっと捕まえたサンバーを献上するのか？）

(45)你好不容易织成的布，一剪断就没法卖了。（金庚石《成功的秘诀在哪里？》2013）（君が時間をかけて苦労してやっと織った布は、ハサミで切ったらもう売り物にはならない。）

例(43)(44)(45)の場合、“好(不)容易”の主語は二人称であり、“好(不)容易+VP”は名詞修飾節として機能している。例(43)における“好不容易+VP”は副詞の“才”と共に起し、「君が時間をかけて苦労してやっと獲得した」という意味をあらわす。例(44)における“好不容易+VP”は副詞の“才”と共に起し、「君が時間をかけて苦労してやっと捕まえた」という意味をあらわす。例(45)における“好不容易+VP”は「君が時間をかけて苦労してやっと織った」という意味をあらわす。

さらに、“好不容易+VP”の主語が三人称で、名詞修飾節として機能する場合もある。

(46)这样她就会丧失她好不容易才保留下来的一切（徐兴业《金瓯缺》1985）（このようにして、彼女は彼女が時間をかけて苦労してやっと残したすべてを失ってしまった。）

(47)没有获得提名必然会损害他好不容易树立起来的新形象。（《人民网》2007年11月1日）（ノミネートされていないことは、彼が時間をかけて苦労してやっと作り上げた新しいイメージに傷をつけることになるだろう）

(48)70多岁的村妇女主任陈菊蕊也送来了她好不容易攒下的1300多块钱。（《人民网》2006年3月8日）（70代の村の女主任陳菊蕊も彼女が時間をかけて苦労してやっと貯めた1300元余りのお金を届けてくれた。）（“陳

菊蕊”は人名である。)

例(46)(47)(48)の場合, “好(不)容易”の主語は三人称であり, “好(不)容易+VP”は名詞修飾節として機能している。例(46)における“好不容易+VP”は副詞の“才”と共に, 「彼女が時間をかけて苦労してやっとな残した」という意味をあらわす。例(47)における“好不容易+VP”は「彼が時間をかけて苦労してやっとな作上げた」という意味をあらわす。例(48)における“好不容易+VP”は「彼女が時間をかけて苦労してやっとな貯めた」という意味をあらわす。

つまり, “好(不)容易+VP”が名詞修飾節として機能する場合, “好(不)容易”は「様態の副詞」の役割を果たし, “好(不)容易+VP”は「時間をかけて苦労してやっとなVPを実現した」という意味をあらわす。“好(不)容易”の主語は第一人称, 第二人称, 第三人称に分布している。

5. まとめ

以上のように, 本稿では, “好(不)容易+VP”の意味・機能について分析し, (6)の仮説について実証してきた。分析の結果をあらためてまとめると次のようになる。

- ① “好(不)容易+VP”は単文に現れる場合, 連続複文に現れる場合, 名詞修飾節として機能する場合, 主語が三人称の現象描写文の逆接複文の従属節に現れる場合において, “好(不)容易”は「様態の副詞」の役割を果たし, “好(不)容易+VP”は「時間をかけて苦労してやっとなVPを実現した」という意味をあらわす。
- ①-1 “好(不)容易+VP”が単文や連続複文に現れる場合, 主語は一人称と三人称に分布している。一人称の場合, 副詞の“才”と共に起す必要がある。
- ①-2 “好(不)容易+VP”が名詞修飾節として機能する場合, 主語は一人称, 二人称, 三人称に分布している。
- ② “好(不)容易+VP”が逆接複文の従属節に現れる場合, “好(不)容易”は「評価の副詞」の役割を果たし, “好(不)容易+VP”は「せっかくVPを実現したのに, 不完全な結果になってしまった」という意味をあらわす。ただし, 主語が三人称の現象描写文における“好(不)容易+VP”はこの限りではない。
- ②-1主語が一人称の場合, “好(不)容易”はVPに

「話者にとって意味のある出来事」という評価を与える。主節には話者の「不満」と「残念」の気持ちが含まれる。

- ②-2主語が三人称の場合, “好(不)容易”はVPに「主体にとって意味のある出来事」という評価を与える。主節には話者の「同情」と「残念」の気持ちが含まれる。
- ③ “好(不)容易+VP”は主節が「表出文」や「働きかけ文」の複文の従属節に現れる場合, 「評価の副詞」の役割を果たし, “好(不)容易+VP”は「せっかくVPを実現したのだから, VPを完全な結果にしよう」という意味をあらわす。
- ③-1主語が一人称の場合, “好(不)容易”はVPに「話者にとって意味のある出来事」という評価を与える。主節には話者の「決心」と「奮起」の気持ちが含まれる。
- ③-2主語が二人称の場合, “好(不)容易”はVPに「聞き手にとって意味のある出来事」という評価を与える。主節には聞き手への「激励」や「叱咤」の気持ちが含まれる。
- ③-3主語が三人称の場合, “好(不)容易”はVPに「主体にとって意味のある出来事」という評価を与える。主節には話者が推測した主体の「決心」と「奮起」の気持ちが含まれる。
- ④ “好(不)容易”が「様態の副詞」として機能する場合の文環境と「評価の副詞」として機能する場合の文環境をまとめると, 次の表1ようになる。

表1 “好(不)容易”の「副詞の役割」の相補分布

主語の人称文環境		一人称	二人称	三人称
複文	単文	様態の副詞	-	様態の副詞
	連続複文	様態の副詞	-	様態の副詞
	逆接複文	評価の副詞	-	評価の副詞 (判定文) 様態の副詞 (現象描写文)
	主節が「表出文」や「働きかけ文」の複文	評価の副詞	評価の副詞	評価の副詞
	名詞修飾節の複文	様態の副詞	様態の副詞	様態の副詞

以上は本稿の結論であり, いずれも先行研究を超えたものである。また, 本稿では考察に及ばなかった「評価の副詞」として機能する場合の“好(不)容易”と“才”との関係, “好不容易”と“好容易”との使い分け, 主

節と従属節が同一主語を有しない複文における“好(不)容易”の意味・機能、主語の人称によって“好(不)容易+VP”の意味・機能は異なるのはなぜかについても注目する必要がある、今後の課題としたい。

謝辞

本論文のアブストラクト英訳の作成にあたり、鹿児島国際大学国際文化研究科のマクマレイ・デビッド先生よりご指導を賜りまして、心より感謝いたします。

注

- 1) 「様態の副詞」は仁田(2002)のpp75-113を参照されたい。具体的に言うと、“好(不)容易”は「動き様態の副詞」に属していると思われる。
- 2) 「評価の副詞」は渡辺実(1996)のpp138-141を参照されたい。
- 3) 本稿における先行研究の翻訳は筆者が責任を負うものである。
- 4) すべての用例の翻訳は筆者が責任を負うものである。
- 5) 「現象描写文」とは話し手の視覚や聴覚等を通して捉えられたある時空の元に存在する現象を、現象の存在への確認は有しているものの、主観的加工を加えないで言語表現化して、述べたものである。仁田(1991)のp36を参照されたい。
- 6) 「主体的意義」とは、対象に向かう言語主体のところに由来する意味のことである。渡辺(2002)のpp75-85を参照されたい。
- 7) 「表出文」と「働きかけ文」は仁田(1991)に借りた用語である。「表出」とは話者の意志や希望や願望といった自らの心的情意を取り立てて他者への伝達を意図することなく発するといい発話・伝達的態度を表したものである。「働きかけ」とは、話し手が相手たる聞き手に話し手自らの要求の実現を働きかけ訴えかけるといい発話・伝達的態度を表したものである。仁田(1991)のpp21-34を参照されたい。
- 8) 本稿が取り扱う一人称、二人称、三人称にはそれぞれの複数形も含まれている。三人称には人名も含まれている。また、物が主語の場合は三人称の場合と同じ意味・機能になるが、現象として取り上げるほどの用例数(12209の用例中100例以下)に達していないため、本研究の対象外とする。主語が存在しない場合は文脈によって主体を判明した結果、それぞれ一人称の場合、二人称の場合、三人称の場合と同じ傾向になるため、本稿では、紙幅の関係で、主語が存在しない場合を本研究の対象外とする。
- 9) 主語が二人称の単文は筆者所持の資料と中国政府のニュースサイト(人民网)を含め、計12209の用例中1例も見つからなかったため、本研究の対象外とする。
- 10) 本稿で取り扱う「自然」「不自然」の判断はネイティブチェックを済んだものである。この判断は30代前後の中国語母語話者20名にアンケートして、15名以上が不自然と判断された結果に基づく。さらに、自然と判断した母語話者にもとの“才”と共起している複文を見せると、5名とも

“才”と共起したほうが自然だと判断したのである。

- 11) 本稿が取り扱う複文の分類は日本語記述文法研究会(2008)と北京大学中文系現代漢語教研室(編)(2004)のpp333-349を参考にし、まとめたものである。
- 12) コーパスを調べた結果、“好(不)容易”が「評価の副詞」として機能する「逆接複文」と主節が「表出文」や「働きかけ文」の複文に現れる場合、副詞“才”との共起はいずれも計12209の用例中10例以下であり、現象として取り上げるほどの量に達していないものとみなし、本研究の対象外とする。
- 13) 「判定文」とは、ある事柄についての解説や判断が成り立つことについての話者の判定を述べたものである。仁田(1991)のpp40-44を参照されたい。「判定文」と「現象描写文」の違いは話者の主観的な考えの有無にある。

文献

- 呂叔湘(1980).《現代漢語八百詞》北京:商務印書館.
- 劉娜・陳一(2004).“‘好容易’與‘好不容易’的考察”《学术交流》, Serial No.118 No.1:136-138.
- 趙幫華・鄧琳玲(2017).“‘好不容易+VP’構式的否定概念化機制”《蘭州教育學院學報》, Vol.33 No.1:44-48.
- 仁田義雄(1991).『日本語のモダリティと人称』東京:ひつじ書房.
- 渡辺実(1996).『日本語概説』東京:岩波書店.
- 渡辺実(2001).『さすが!日本語』東京:筑摩書房.
- 渡辺実(2002).『国語意味論』東京:塙書房.
- 仁田義雄(2002).『副詞的表現の諸相』東京:くろしお出版.
- 北京大学中文系現代漢語教研室(編)(2004).『現代中国語総説』東京:三省堂.
- 日本語記述文法研究会(2008).『現代日本語文法6 第11部 複文』東京:くろしお出版.

用例出典

- 人民网(<http://www.people.com.cn/>) 計3059例(2018年5月12日時点)
- 筆者が収集した資料(1950年代以後出版されたもの) 計9150例